

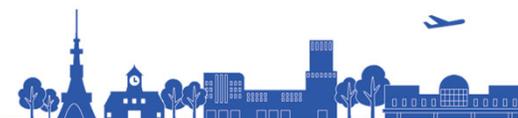


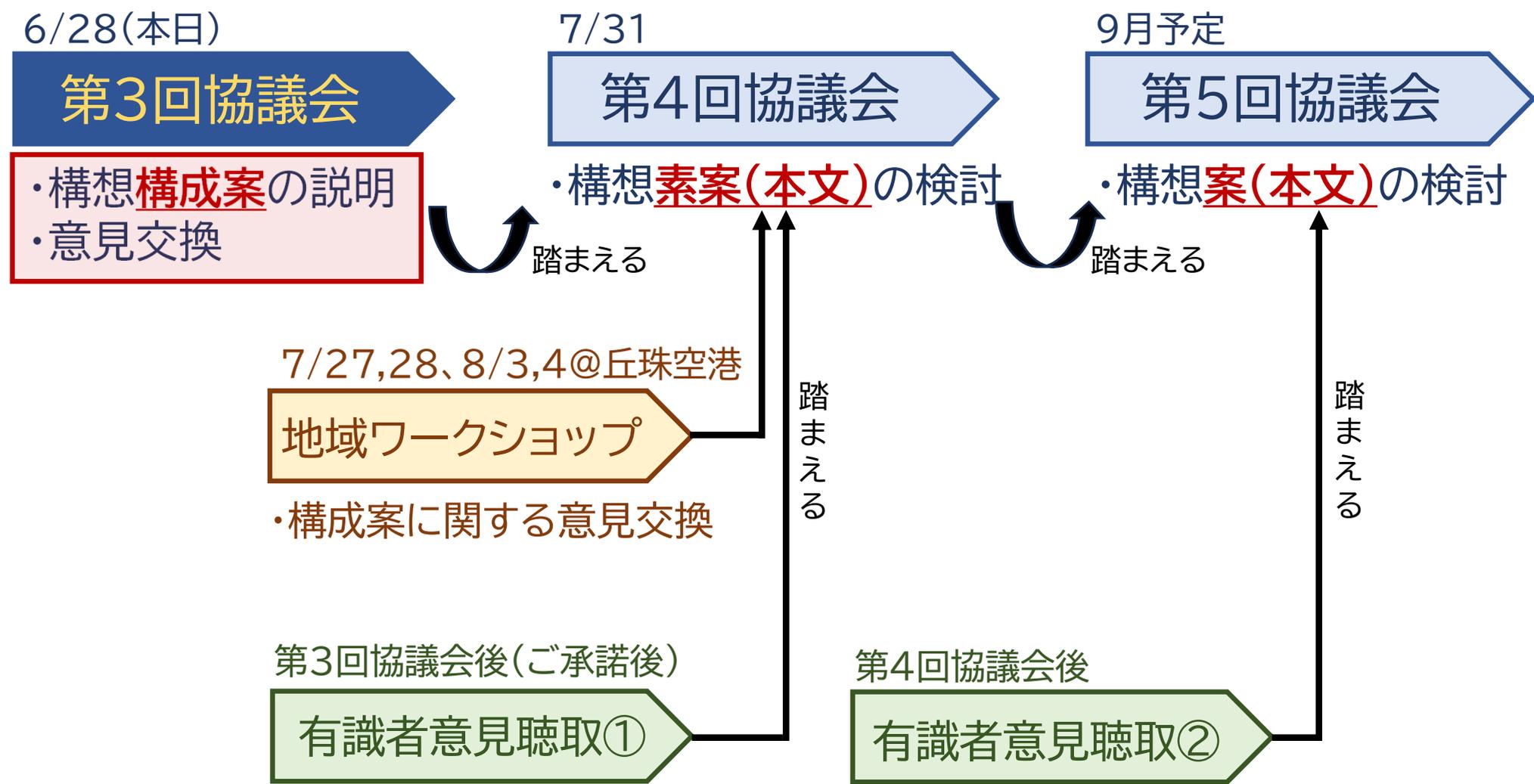
# 第3回 丘珠空港周辺地域連絡協議会



令和6年6月28日  
札幌市まちづくり政策局  
空港活用推進室

- 1 (仮称) 丘珠空港周辺地域まちづくり構想の構成案について
- 2 構想の名称について
- 3 学識経験者の意見聴取について



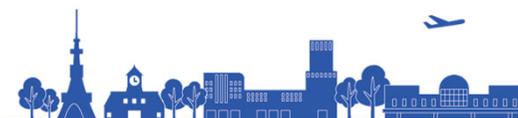


※第5回協議会の後は、市役所内での調整や市議会への報告、パブリックコメント等を経て、年度内の策定を予定



# まちづくり構想の構成案について

- 1 目的と位置づけ
- 2 対象区域
- 3 経緯と現状
- 4 課題
- 5 目指す方向性
- 6 取組の方向性
- 7 ロードマップ



## 目的

今後国により丘珠空港の整備が決定され、空港機能が強化されていくことを想定し、丘珠空港と周辺地域の在り方を整理し、地域と認識を共有した上で、空港周辺地域のまちづくりの指針とするもの。

## 位置づけ

第2次札幌市まちづくり戦略ビジョン

<令和5年度>

※本市のまちづくりに関する最上位計画

丘珠空港周辺の  
まちづくり構想  
<平成10年度>

- ・滑走路延伸(100m)を契機にまちづくり構想を策定
- ・空港周辺の騒音・風雪対策や住環境の整備等を実施

踏まえる

第2次札幌市都市計画  
マスタープラン  
(平成27年度)

札幌市立地適正化計画  
(平成27年度)

※都市づくりの全市的な指針



(仮称)丘珠空港周辺地域  
まちづくり構想

連携  
整合

市の分野別計画等

丘珠空港の将来像

総合交通計画

みどりの基本計画

市街化調整区域の  
保全と活用の方針

その他関連計画

地域意見

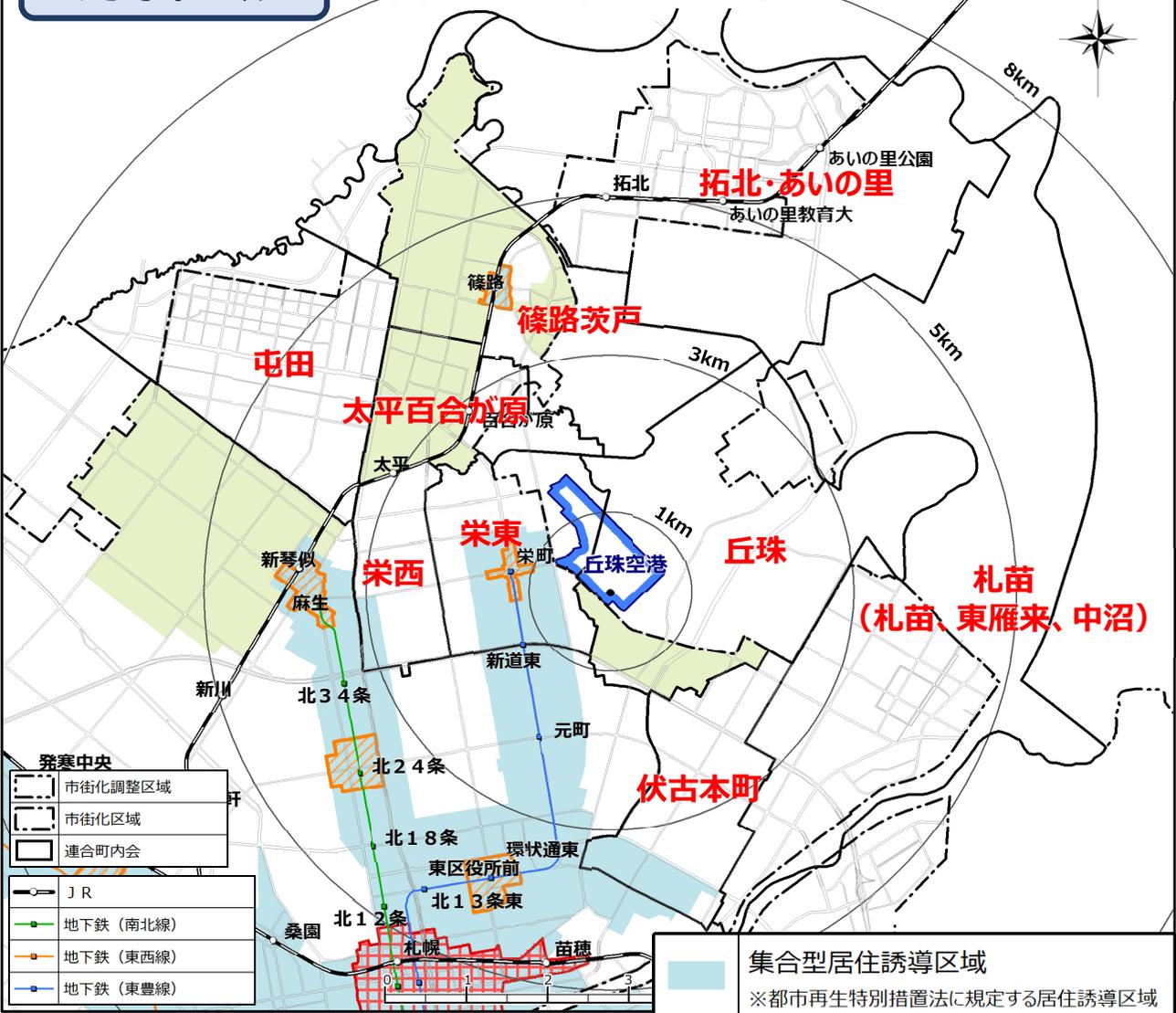
- ・丘珠空港周辺地域連絡協議会
- ・アンケート、ワークショップ等

踏まえる



## 対象区域

## 図中の9地区11連町



※高次機能交流拠点:産業や観光、文化芸術、スポーツ等、国際的、広域的な広がりをもって利用され、北海道・札幌市の魅力と活力に資する高次の都市機能が集積するエリア。

	集合型居住誘導区域 ※都市再生特別措置法に規定する居住誘導区域
	都市機能誘導区域(都心)
	都市機能誘導区域(地域交流拠点)
	持続可能な居住環境形成エリア

## 都市計画上の位置づけ

### ■都市機能誘導区域

- 篠路駅周辺
- 栄町駅周辺

医療・福祉・商業等の都市機能を集約することにより、これらの各種サービスの効率的な提供を図る区域(都市の中心拠点や生活拠点)。

### ■集合型居住誘導区域

- 篠路駅周辺
- 伏古本町の一部
- 栄東の地下鉄沿線
- 栄西の一部

人口分布の偏在を是正しつつ人口密度の維持・増加を図るため、土地の高度利用を基本とした集合型の居住機能を集積する区域。

### ■持続可能な居住環境形成エリア

- 篠路、○太平百合が原、○丘珠

生活・交通利便性を確保しつつ持続的な地域コミュニティの形成を目指すエリア。人口減少速度が速まることが予想されるが、一定の居住需要が継続的に存在。

### ■高次機能交流拠点※

地区の中心に位置する丘珠空港及び周辺を「高次機能交流拠点」に位置付け(令和5年10月)

➡広域交通拠点である丘珠空港の特性に応じた相乗効果が期待できる民間開発の誘導や、民間活力を生かした都市機能の集積を展開



## 空港整備とまちづくり構想の策定（平成9年頃～）

	丘珠空港の整備	周辺まちづくり
H9頃～	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当時就航していたYS-11の老朽化 →後継プロペラ機による安定運航確保のため、<u>空港整備の検討</u>を開始</li> <li>・空港整備に関する住民説明会（9～H11、計6回）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「丘珠空港周辺のまちづくり懇談会」と市の間で、まちづくりに関する意見交換を実施</li> </ul>
H10～		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「丘珠空港周辺のまちづくり連絡協議会」を設置し、まちづくりについて意見交換</li> </ul>
H10.12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「<u>空港整備に関する基本的な考え方</u>」をまとめ、地域と認識を共有</li> </ul>	<p>踏まえる</p>
H11.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国に対し、空港整備の事業化を要望</li> </ul>	
H11.3		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「<u>丘珠空港周辺のまちづくり構想</u>」を策定</li> </ul>
H12～	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>空港整備事業の実施</u>（滑走路延伸・拡幅等、～H15）</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">                     まちづくりの取組の実施                 </div>



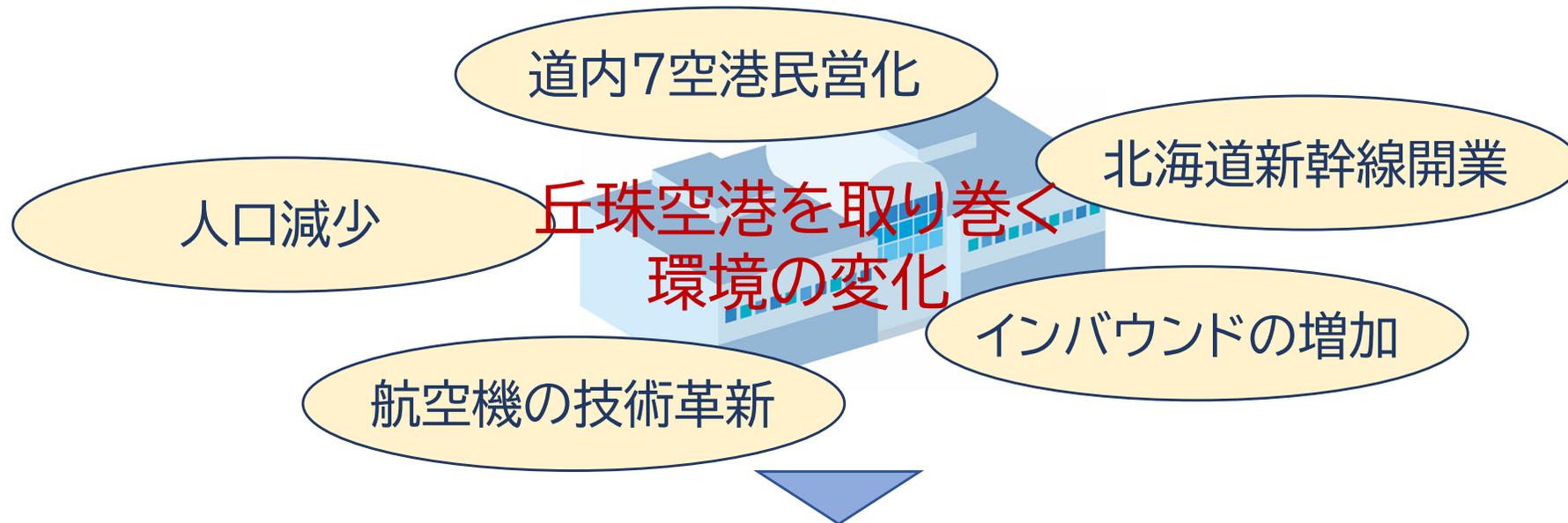
## 構想に基づく周辺まちづくりの取組(平成11年～)

### ■「丘珠空港周辺のまちづくり構想」の概要と総括

- 大部分の取組は実施完了または検討中
- これらの経緯を踏まえ、次期構想を策定

まちづくり構想の内容	主な取組	状況
<b>■課題1 空港周辺の騒音対策・風雪対策の推進</b>		
(1)緩衝緑地の整備	丘珠空港緑地を整備	完了
(2)公共施設の緑化の推進	篠路通、丘珠空港通の街路樹を整備(植樹)	完了
(3)風雪対策の検討	緑地事業により樹林帯を整備、点滅式道路標識を設置	完了
<b>■課題2 空港周辺の住環境整備</b>		
(1)基盤整備	篠路通整備、丘珠川改修、下水道整備、小学校の移転等を実施	完了
(2)市街化調整区域の既存住宅団地の居住環境保全	地区計画の策定(丘珠藤木川西団地、静珠苑団地)	完了
(3)つどーむ周辺の交通対策	基盤整備により対応	完了
<b>■課題3 空港周辺の土地利用と交通体系の検討</b>		
(1)北丘珠地区の適正市街地規模の確保	人口増の鈍化や市街化区域の土地利用状況等を踏まえ線引き判断を実施	完了
(2)幹線道路沿道の都市的土地利用の誘導	苗穂・丘珠通と伏古・拓北通の施設立地基準を緩和	完了
(3)空港周辺地域の新たな幹線道路の整備	周辺の開発状況や既存住宅団地の動向を注視	未
(4)都市環境緑地の形成	丘珠空港緑地の整備、市民農園の推進補助等	完了
(5)丘珠空港の防災拠点機能の検討	「丘珠空港の将来像」に基づき、拠点化を検討中	検討中
(6)地域資源を生かしたまちづくりの検討	百合が原公園での地域イベントやさとらんど周辺の景観整備の取組等を実施	完了

## 環境の変化と「丘珠空港の将来像」の策定(平成28年～)

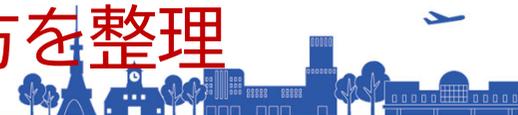


### ■「丘珠空港の将来像」(令和4年)

- ・環境変化に対応しつつ、札幌・北海道の活力向上に貢献することが求められる
- ・機能強化により、空港が持つポテンシャルを最大限発揮していく

一方で、滑走路延伸に伴う丘珠空港緑地の減少や、増便に伴う騒音の増加など、新たに対応を必要とする事項も発生。

空港整備に端を発する周辺まちづくりの在り方を整理



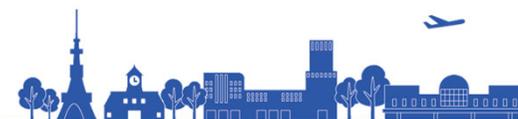
## 環境配慮と安全確保

増便が見込まれる中においても、環境配慮と安全確保を徹底していくことが、空港機能強化と周辺まちづくりの大前提であり不可欠。

## 空港整備効果の地域波及

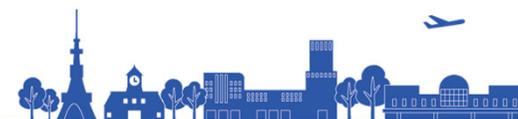
環境配慮と安全確保に加えて、空港の整備を周辺地域のメリットに繋げていくことが必要。

※周辺地域のメリットの例:賑わいの創出、利便性の向上等



## ■ 空港と周辺地域の共生

地域の意見を踏まえ、環境影響を上回る地域メリットを創出していくことにより、一人でも多くの住民が「空港があってよかった」と感じられるまちづくりを目指す。



## 方向性① 環境配慮の徹底

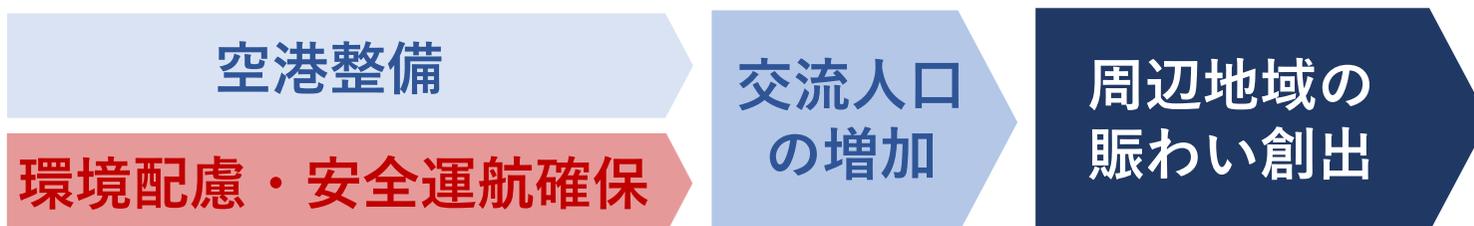
- 航空機の運航は騒音の環境基準値の範囲内で行う(将来的に日70便程度を想定)。
- 騒音(地上騒音・飛行騒音)への対応など、環境配慮の取組を徹底する。

## 方向性② 安全運航の確保

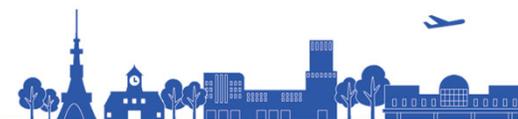
ダイヤ調整や自衛隊機の訓練との調整等により、便数が増加する中においても安全運航の確保を徹底する。

## 方向性③ 空港及び周辺機能の充実

- 丘珠空港を「地域資源」かつ「賑わい創出の核」としてとらえ、周辺地域住民の利用を前提に、空港機能の充実を図る。
- 丘珠空港緑地の活用、周辺の産業誘致、空港への交通アクセス改善など、空港周辺における都市的機能の充実を図る。



▶ これらの方向性に沿って、個別の取組を展開



## ■航空機騒音の調査と丁寧な情報発信

地域の意見を踏まえて騒音の調査地点を追加するとともに、地域に寄り沿った丁寧な情報発信に努める。

### <追加地点(案)>

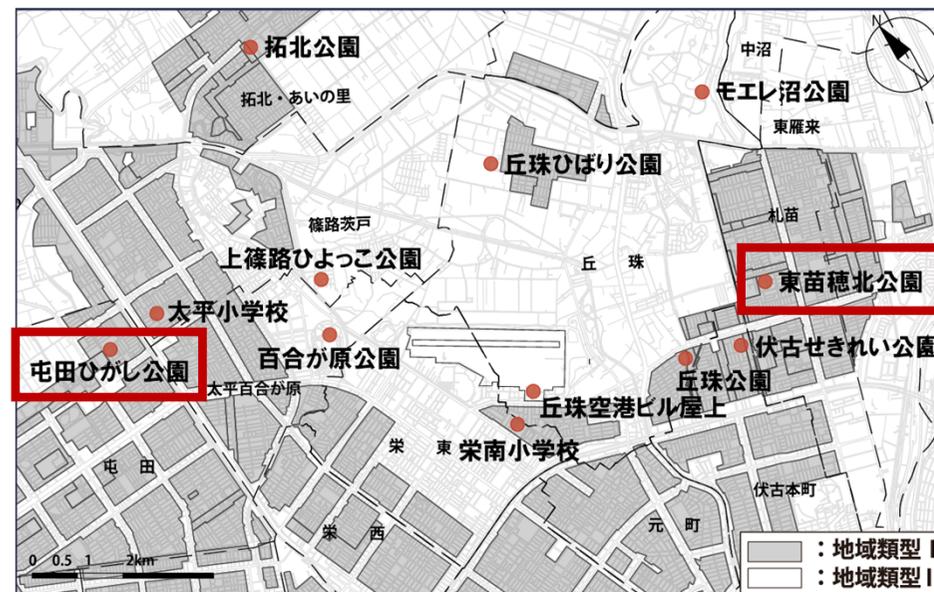
- ・屯田ひがし公園
- ・東苗穂北公園

### <調査時期>

夏期と冬期の年2回(R5～)

### <情報発信方法>

札幌市ホームページ、広報さっぽろ(北区・東区版)  
丘珠空港ニュース(町内会回覧) 等

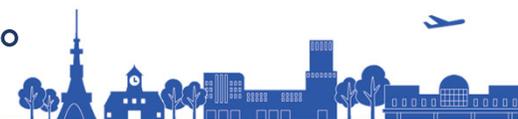


## ■騒音の緩衝機能の確保

滑走路延伸をはじめとした空港機能強化に伴い、丘珠空港緑地の面積が減少(想定)  
➡減少する緑地の範囲に応じて、樹林帯の整備等、騒音の緩衝機能の確保を図る。

## ■防音対策補償の考え方

航空機の運航は騒音の環境基準値の範囲内で行っていくが、現時点では想定していない社会情勢の変化や航空需要の増加等により、万一、環境基準値を超える運用となる場合には、国が定める基準に従い、防音対策の補償を検討。



## ■安全運航の確保に向けた空港用地の拡張

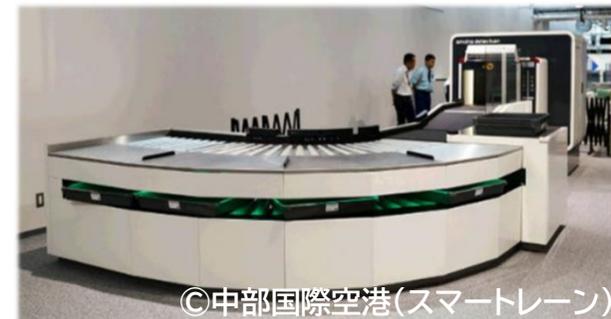
旅客機の運航と自衛隊機の訓練を両立させ、双方の安全運航を確保するため、丘珠空港緑地(北東地区の一部)を活用して空港用地を拡張し、自衛隊機の待避地を確保。



国や札幌丘珠空港ビル(株)等の関係者と連携し、現位置での建て替えまたは増築を前提に、必要な機能や求められている機能を整理。新しいターミナルビルの絵姿を検討するとともに、ビルの運営の在り方を検討。

## ■空港の基本機能の拡充

- 搭乗受付や保安検査場の整備等、利用者増加への対応
- 将来的な貨物便展開を見据えた専用窓口の検討
- ビジネスジェット専用施設の整備を検討 ・・等



## ■商業機能の拡充

- 搭乗者以外の利用を想定した飲食・購買スペースの拡大  
(ラウンジ、カフェ、高機能トイレ等、利用者目線で検討)



## ■災害対応機能の拡充

- 地震等、大規模自然災害の発生時に、空港利用者及び地域住民の支援に必要な危機管理上の機能を整理。



※各機能拡充について、札幌市と札幌丘珠空港ビル(株)にて検討し、R6年度に基本計画を策定する予定



## ■緑地機能の確保

空港用地の拡張に伴う丘珠空港緑地の減少範囲を踏まえ、樹林帯や散策路等、必要な整備を行うことで、当該緑地が持つ騒音や風の緩衝機能とレクリエーション機能の維持を図る。

## ■緑地を活用した賑わいの創出

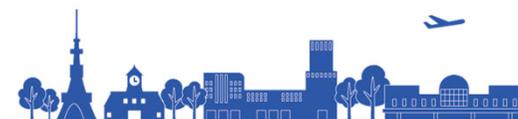
○地域、空港関係者、丘珠空港緑地の指定管理者との連携のもと、丘珠空港緑地の賑わい創出の可能性に関する実証実験を企画・実施。

➔実験結果を踏まえて緑地の在り方を検討していく。

○緑地の整備にあたっては、民間活力の導入や空港との連携も検討。



※具体的な整備内容は、緑地面積の減少範囲(現状未定)を踏まえ検討



国による空港整備の事業化の行方や、空港周辺の地域特性等を踏まえ、広域交通拠点である丘珠空港及びその周辺(高次機能交流拠点)にふさわしい産業の振興・集積を図る。

## ■企業立地の促進

「流通業務施設立地指定路線※」を活用した企業立地の促進を図るため、同路線の認定要件の見直しを検討。

※空港の南側に位置する苗穂・丘珠通、伏古・拓北通の一部

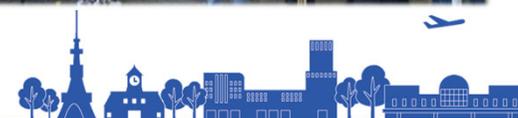


## ■空港周辺への産業誘致

地域の意見や企業ニーズ、将来的な丘珠空港の貨物便展開の可能性等を考慮し、市街化調整区域を含む空港周辺の土地活用による産業誘致の可能性を検討。あわせて、必要に応じ、交通状況を踏まえた道路整備を検討。

## ■空港を活用した周辺地域の活性化

商店街や大学等、周辺地域との連携・協力により、空港でのイベントや商品開発等を通じた周辺地域の活性化を図る。



国や関係機関と協議しながら、将来的な来港者の増加を見据えて、必要な交通アクセスの改善を図る。

## ■空港駐車場の整備

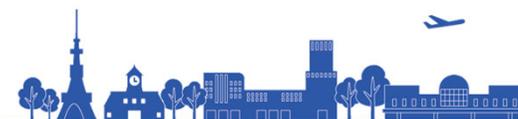
- 直近の利用者増及び混雑発生に対応するため、空港敷地内における平面的な拡張による駐車台数の増加を図る。
- 就航路線の増加や空港ターミナルビルの機能拡充等に伴う将来的な利用者増に対応するための駐車台数の確保について検討。



## ■公共交通によるアクセス性の向上

- 地下鉄栄町駅～空港間のアクセス性向上のため、待ち時間の短縮と効率的な輸送に繋がるシャトルバスの運行実験※実施に向け調整中
  - ➡結果を踏まえ本運行を検討

※有料運行

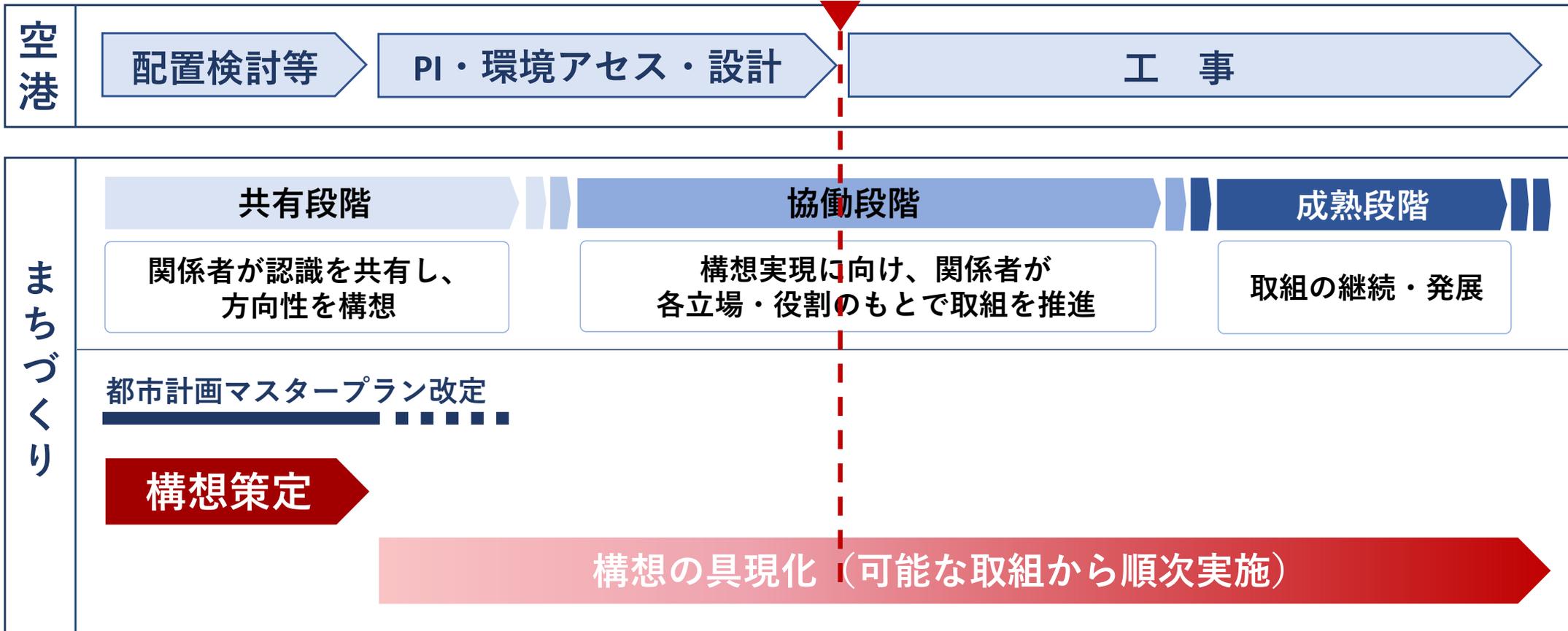


## ■ 空港整備の進捗と地域ニーズを踏まえながら、取組を推進

2024

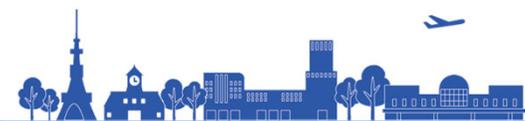
空港整備の事業化（未定）

2030



構想の名称について

- ①丘珠空港周辺地域まちづくり構想
- ②丘珠空港周辺地域まちづくりビジョン
- ③丘珠空港周辺地域まちづくり指針
- ④【令和版】丘珠空港周辺のまちづくり構想
- ⑤その他



# 学識経験者の意見聴取について

まちづくり構想について、外部の客観的意見を取り入れ、内容のブラッシュアップを図るため、かねてより本市の航空行政との関わりが深い学識経験者(2名)から意見聴取(助言や提案等)を行いたい。

## 北海道大学公共政策大学院 客員教授 石井 吉春氏

(丘珠空港との関わり)  
○札幌丘珠空港利活用検討委員会  
○丘珠空港機能強化検討会  
..など

(ご専門)  
公共政策学



## 北星学園大学教授 鈴木 克典氏

(丘珠空港との関わり)  
○丘珠空港利活用フォーラム  
○丘珠空港利用者利便向上協議会  
..など

(ご専門)  
交通計画学、都市計画学



### <意見聴取の方法(想定)>

- ・構想素案(書面)を個別にご確認いただき、ご意見を伺う
- ・第4回以降の地域連絡協議会に参加いただき、ご意見を伺う

